

★★★ <第22回知的財産翻訳検定試験【第12回和文英訳】> ★★★

≪ 2級課題 ≫

【解答にあたっての注意】

1. 問題は3題あります。それぞれの課題の指示に従い、3題すべて解答してください。
2. 問題文に段落番号がある場合、これを訳文に記載してください。
3. 必要に応じて添付図面を参照してください。

問題 1.

下記の【請求項 1】から【請求項 6】を、米国出願用に英訳してください。

【請求項 1】 左右の後車輪および前車輪と、正転および逆転可能な電動機と、前記電動機に電力を供給する蓄電池と、少なくとも前記電動機の回転方向と回転速度とを制御する制御装置と、前記後車輪と前記前車輪のいずれか一方に前記電動機の出力を選択的に伝える伝動装置とを有する電動車椅子。

【請求項 2】 前記伝動装置は、前記電動機逆転するときには前記車椅子を後進させるようになっている請求項 1 に記載の電動車椅子。

【請求項 3】 前記蓄電池の残存容量をモニターするモニター装置と、残存容量が所定レベルを下回った場合に警報を発する警報装置とを有する請求項 1 に記載の電動車椅子。

【請求項 4】 前記制御装置は、前記電動機の逆転時には前記後車輪に前記電動機の出力が伝わるように前記伝動装置を制御する請求項 2 または 3 に記載の電動車椅子。

【請求項 5】 前記制御装置は、本体ケースと、前記本体ケースに収容され人が操作する制御入力部と、前記本体ケースに収容され制御入力部の出力を入力して前記電動機の回転方向と回転速度とを制御する制御回路部とを含む請求項 1 から 4 のいずれかに記載の電動車椅子。

【請求項 6】 前記制御入力部が前記本体ケースから取り外し可能であるとともに制御入力部の出力を無線信号として発信する発信回路を備え、前記制御回路部が前記無線信号を受信する受信回路を備える請求項 5 に記載の電動車椅子。

## 問題 2.

下記の文章は、ある特許明細書の一部（従来技術の記述部分）を抜粋したものです。これを米国特許出願用英語明細書として英訳してください。

なお指定用語がありますのでそれを使って翻訳してください。

本出願は、2005年7月7日出願された、特願2005-053412（発明の名称「温室効果ガスで飽和したカーボンナノチューブから該ガスを取り除く方法」）に基づく優先権を主張し、該特許出願のすべての内容を参照により本出願に取り込むものとする。

### 【技術分野】

地球上の大気中に見られる多くの化合物が、「温室効果ガス」として働く。これらのガスは、日光を大気中に自由に入射させる。日光が地球表面に到達すると、そのうちのある部分は赤外線(熱)として宇宙へ反射される。温室効果ガスはこの赤外線を吸収し、大気中に熱を閉じ込める。地球表面の温度をほぼ一定にするためには、一定の時間の間に太陽から地球表面へ送り込まれるエネルギーの量と同一時間中に宇宙へ反射されるエネルギーの量とがほぼ同じであるべきである。

しかしながら、人間の活動の結果として温室効果ガスが地球の大気に蓄積し、地表の気温および亜表層の海水温度を上昇させるという懸念が科学界に高まっている。すなわち、過去数十年間にわたる地球規模の温度上昇が、直接的に人間の活動に起因するものであるという懸念である。

多くのガスが「温室効果」の特性を示す。このうち、自然界にもともと存在する物質(たとえば、水蒸気、二酸化炭素、メタンおよび亜酸化窒素)もあるが、他の物質はもっぱら人間が発生させる。地球上で生じる二酸化炭素のほとんどが人間によるエネルギー生産に伴うものであり、特に石油および天然ガスをエネルギー関連で使用する結果による。

本発明は、カーボンナノチューブを利用して、炭化水素ガスおよび温室効果ガスから二酸化炭素の排出を伴うことなく水素ガスを生成する方法を提供する。

指定用語：亜表層 sub-surface ocean

### 問題 3.

下記の文章は、ある特許明細書の一部（実施形態の記述部分）を抜粋したものです。これを米国特許出願用英語明細書として英訳してください。

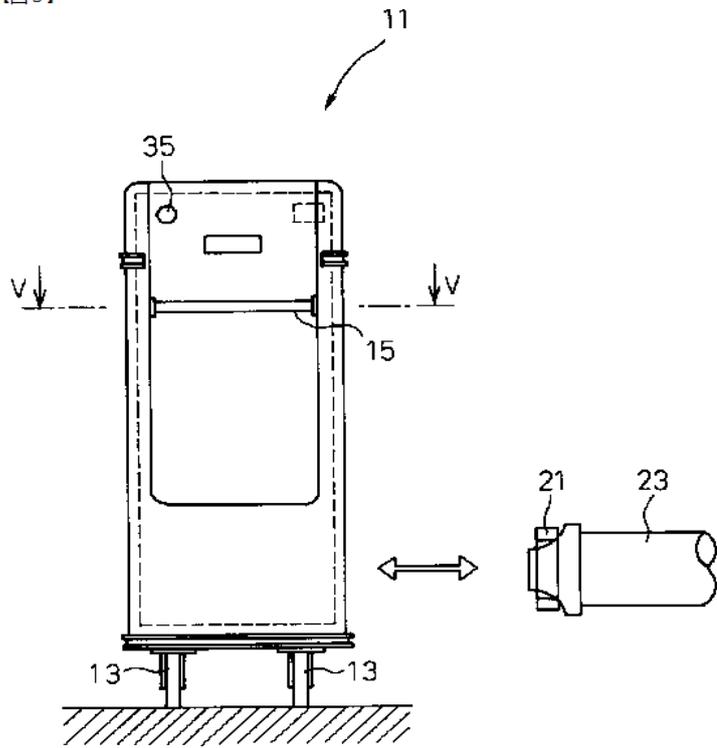
必要に応じて添付の図面を参照してください。

図 1 から図 4 に示すクールワゴン 1 1 は、主として調理済み食品を（冷蔵）保管するための箱型の容器である。移動を容易にするために、本クールワゴンの底面には、ストッパー付きのキャスター 1 3（うち 2 つは、旋回タイプ、残り 2 つは、旋回しないタイプ）が 4 つ装着されている。クールワゴン 1 1 の外部両側に設けた凹面部には、クールワゴン操作の取っ手 1 5 がそれぞれ装着される。

【0011】クールワゴン 1 1 は、その両側面及び裏面が、断熱性を有する強化プラスチック（FRP）の 30 mm 程度の肉厚のパネルで構成され、コーナー部やコーナーレール部は、ステンレス鋼で形成される。クールワゴン 1 1 の正面には、食品出し入れ用の片開き式の正面扉 1 7 が装着されている。扉を開けることなく内部状態を視認することができるように、正面扉 1 7 は、2 つの大きな縦長の窓部を有し、該窓に透明（又は半透明）な材料、例えばポリカーボネートの板材が嵌め込まれている。出し入れを容易にするため、この正面扉 1 7 は、約 270 度開くことが可能であり、また、90 度開いた位置で固定できるようにストッパー機構が設けられる。

【0012】クールワゴン 1 1 の裏面の上下部分には、一対のダクト接続口 1 9（メクラ蓋付き）が設けられている、これらのダクト接続口（上部側（冷気取り入れ用）／下部側（排気用））には、先端に漏れ防止用のエアパッキン 2 1 を具えたエアダクト 2 3（後述するクーリングユニットから延びる）が接続されるようになっている（図 3、図 4 参照）。尚、クールワゴン裏面上部側のダクト接続口 1 9 の下流側には、清浄な空気の循環（送風）のために、プレフィルター（図示しない）が設けられる。

【図3】



【図4】

